

評価表記載要領

様式6

柔道整復師卒後臨床研修評価表

研修生番号【 】
 研修生氏名 _____

柔道整復施術所名 _____
 医療機関名 _____
 指導者名(開設者) _____ 印

1. 研修期間 平成 年 月 日から 平成 年 月 日までの1年間
2. 評価表作成日 平成 年 月 日
3. 評価基準 4段階評価 (良い:4、まあ良い:3、普通:2、良くない:1、未経験は空欄)

1.研修期間
 開始日、終了日を必ず記載する
 (期間は12ヶ月間を満たすこと)

自己評価(期間)欄
 研修生が自己評価する
 (1~3ヶ月、4~6ヶ月、7~9ヶ月の3ヶ月毎に、最後の欄は12ヶ月間を通して、それぞれ4段階評価する)

評価項目	自己評価(期間)				指導者評価
	1~3	4~6	7~9	1~12	
1)柔道整復師にふさわしい身だしなみや言葉、態度を身につけ、時間を守ることができる。					1ヶ月 ~ 12ヶ月
2) 患者の訴えを的確に分析できる。					
3) 同僚との人間関係を築くことができる。					
4) 困難な問題は指導者に適切に相談することができる。					
5) 患者・施術・業務に対し責任を持って行動できる。					
6) 患者との会話においてプライバシーの保護、インフォームド・コンセントに配慮できる。					
7) 常に患者側に立ち考え、会話し、行動できる。					
24) 患者の生活習慣、仕事、社会背景に留意した措置ができる。					
25) 損傷に対する施術、固定など処置を適切に行うことができる。					
26) 医師の診察の必要性について評価、判断できる。					
27) スポーツ損傷の救急処置、指導管理を行うことができる。					
28) 患者、家族に適切な指導管理を行うことができる。					
29) 医接連携に基づく紹介、返書、対応を行うことができる。					
30) 検査、施術に対するインフォームド・コンセントに配慮することができる。					

指導者評価欄
 評価項目ごとに指導者から評価を受ける

総合評価欄
 指導者から研修項目全体について4段階の総合評価を受ける

総合評価